

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下同番地 (電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所



定部金貳圓 廣五號十二 休日不刊 祝日不刊
 郵税五厘 料字請一行 日祝日不刊 日祝日不刊
 福島縣石城郡平町長橋町三五番 發行所 常盤毎日印刷所 電話六三〇番

刊夕日五月二十

思想を観る用意
 兵 陽

種類は何たるを問はず凡そ思想を観る時は、之を發生せしめたる事情に着眼する要がある。無数の主義、學說ありて思想界は決して單調でないが若し多少の意圖あれば邪路に陥ることを避けられぬ。

思想の種類は多々ある、政治思想、經濟思想、社會思想、文藝思想、宗教思想等の一切に亘るが、其何たるを問はず之を観る時は夫

れは何れの國より起れるか誰が唱道したのか、何人種か、何歳位の人か、男か女か、如何なる階級者にしてどんな生活者か、時代は何時かといふ風に其思想の生じた環境、時代、系統等に就て縦横に一應の批判を試みる、往々流行に後るゝ氣味なきにあらざるも之を憂ふる要はない。

(一) 地理的環境 各國民が夫れ／＼特異の民性氣質を有することは種々の原因によるが、地理的環境も世因の中の一である。南歐と北歐、南支那と北支那又我が東北と九州、山陽と山陰、關東と關西に於て多少の相

違ある。アダム・スミスの經濟思想を観る時は英國當時の經濟事情、政治状態を早るべく、トルストイの文藝思想に接する時は露國の地態を看過すべきでない。夫々の氣候風土民情が夫等の思想を生ずるに多大の關係を有して居る。故に思想の種類は何たるを問はず先づ發生せる地方の物質的境遇如何なりしかを見るのである。



貸家案内

白銀町 商店向 二二、〇〇〇
 同 同 二〇、〇〇〇
 仲間町 勤人向 三、五〇〇
 同 同 二二、〇〇〇
 鷹匠町 同 一〇、〇〇〇
 同 同 八、〇〇〇
 柳町 同 六、五〇〇
 櫻町 同 一〇、〇〇〇
加藤營業所
 白銀町(電話三三三番)

梅毒 淋病
 病人婦門專 皮膚病
松村病院 町南平
 電話七〇一

蓄音器・貴金屬
會田時計店
 平町四(電話三三三三)

肉盤其まゝの高級
 ビクターレコード一枚、50錢
 日本物と音樂
 蓄音器針は
 ビクター針先 35號
 一度御試聽下さい

木村外科専門
 花柳病科 専門
 入院自炊の便あり
 平町五丁目橋際
 電話三〇九番

御大禮記念セイコー抽籤特賣
 賞品總額拾壹萬參千圓
 賞品 壹百圓 (價券) 五十本
 五十圓 同 五十本
 十圓 同 二百本
 五圓 同 五百本
 七圓 同 二百本
 七圓 同 五百本
 一本も空籤なし

國民の擧つて奉祝する御大禮につきまして。此の曠古の御盛儀を記念するために國産セイコー腕時計の抽籤特賣を發表致します。永く保存が出来御使用に便利な絶好の記念品として御薦め致します。

特約店 **大谷時計病院**
 平町三丁目(電話一九番)

永久不變 平町三丁目
齋藤寫眞館
 美術引伸 齋藤寫眞館
 寫眞專門 (電話呼三五九番)

いしいた 衛生多養滋
 ンバ ンバ ンバ
 食パン 一斤十六錢
 レモン 一ツ
 ミラツム 五錢
 プラム 同
 ヤム 同
 ジヤム 同
 松本 同
 ウツマキ 同

目丁四町平
ヤトモツマ
 番四一二話電

外科専門
 科線光
上田外科醫院
 入院應需
 平町南町
 電話一二九番

◇行興回二第恩謝末年例吉◇
彌次毒次郎大行
 主 演 當ル六日ヨリ上映
 河部新 尊王の巻 十卷
 五郎四郎 彌次毒次郎の巻 十卷
 酒井浦 彌次毒次郎の巻 十卷
 井邊 彌次毒次郎の巻 十卷
 米子 彌次毒次郎の巻 十卷
 子孫 彌次毒次郎の巻 十卷
 大河木 彌次毒次郎の巻 十卷
 内香 彌次毒次郎の巻 十卷
 次郎 彌次毒次郎の巻 十卷

◆史劍喜大作特超活日大◆
伏見鳥羽
 普通席金十錢 平館

高久病院
 院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
 平町田町 電話五二三番

合津醫院
 耳鼻咽喉科専門
 場所 (舊診療所裏通り)
 平町仲田町(電話五五九)

優る最新型腕巻時計
 側白金代用側クロム
 十型十石入上アングル 7.50錢
 九型十石入上アングル 11.00圓
 全十五石入上アングル 9.50圓
 全十五石入上アングル 13.40圓
 八型十五石入上アングル 12.00圓
 全十五石入上アングル 15.00圓

側金側金質保證十八金
 十型十石入上アングル 12.50圓
 全十五石入上アングル 18.50圓
 九型十五石入上アングル 15.00圓
 八型十五石入上アングル 17.00圓

前店商屋釜目丁五
 用御省道鐵
店計時堂光金
 (番六三七話電)

愈よ合併交渉 本舞臺に入る

昨日常磐の招電に依り 山崎頭取水戸へ

平銀對常磐の合併がどう展
開するかは節季師走を控へ
た平地方として萬人がその
成行きを手に汗握つて割目
する處であつた、常磐側に
ては既報の如く三宅支配人
一行の

調査材料

に依つて
一昨日來重役會を開き慎重
審議を凝らして居たが愈よ
合併の意圖を決せるものの
如く昨日平銀行に對し山崎
頭取、高岡取締役、木村前
常務の三氏に對し來水され
度さ旨電話を以つて促し來
つた爲め右の三氏は同日午
後一時二十一分平驛發上り
列車にて出發、水戸に赴い
た、是れに依つて合併問題
は愈よ本舞臺に入り多分本
日は

合併比率

等に就い
ても兩重役間に於て折衝が
重ねられる筈であるから合
併の成否は一兩日中に判然
するであらうと右に關し留
守居役の新田目監督役は語
る

出張所廢止

四倉銀行が

石城郡四倉町の整理中であ
つた四倉銀行は諸般の整理
中であつたが貸付方面も割
合早く片がついて近く預金
支拂ひを實行するもの、如
くであるが同行では經費節
減のため平町外三ヶ所の出
張所を廢止し什器其他を希
望者に賣却中である

俵米品評會

廿五日から三日

石城郡大浦、四倉、大野、
草野、四箇町村では聯合を
以て來る廿五日から三日間
四倉驛前大浦農業倉庫に大
典記念地方産米改良獎勵俵
米品評會を開催の筈である
が當日は産米改良に關する
講演もある筈で尙五百點以
上に達する出品俵米を最終
廿七日入札競賣を行ふと
營業收益稅

平は不成績

稅務署が弱る

平稅務署では銀行休業で十
一月三十日納期の營業收益
稅の徵收は極めて困難であ
らうと豫測してゐた處事實
は全く之と相違し一番完納

地主が永年の間に 道幅を食ひ込む

平役場が臺帳と照合し あはて、調査を始む

平町では區畫整理を行ふ前
提として字柳町方部から町
道の調査を行つた處、平町
役場の臺帳を照合して見る
と道幅や曲折が非常に相違
してゐるので更に詳細な調
査を開始した町役場の臺帳
は明治の初めに平町が未だ
北目町と稱してゐた時代を
實地に測量して作製したもの
のであるから間違ひはなく
永い間に地主が道路を蠶食
した結果臺帳と符合しない

麥作の狀況

發育が良い

石城郡駐在神尾技師は郡内

が困難と見られてゐた湯本
町は他よりも早く完納され
其の他各町村も納期までに
は完納されてゐる、唯未納
者があるのは平町のみで納
期から整理期間の三日間が
すぎても納入しない者は百
八十三名其の稅額は三千五
百圓に達してゐる従來平町
は一番よかつたので斯くの
如き不成績は未だ會てな
つた由である

成績が悪いと 兩親に叱られて

小學生が裏山で自殺

石城郡飯野村渡邊森次郎長
男鶴松(一)は四日午前十時
頃自宅裏山で縊死してゐる
のを發見平署から係官出張
したが同人は尋常六年生で
あるが成績が悪いため常に
兩親から叱られ同日も叱ら
れたために子供心にも死を
決したものである

平署野犬狩

十日から開始

平署管内三町十九ヶ村の野
犬狩は十日から明年一月十



家庭知識

家庭知識

せきが出て不眠性に陥つた
時にはカラシの濕布が特効
があります。

林野保護

十一月平署で

平警察署管内林野保護組合
總會は來る十一月午前九
時から同署樓上に於て開催
山林火災の季節になつたの
でこれが豫防に關し又山林
盜伐防止策その他について
協議をなして終つて優良組合
員の表彰を行ふと

體育聯盟

櫻ヶ岡會組織

縣立磐城高等女學校では今
回櫻ヶ岡體育會を組織し大
日本體育聯盟會に加盟した
が毎週四回同校庭に於いて
競技を行ふが會員は全校生
徒八百名で指導者は同校職
員廿四名である尙競技種目
は走技、球技、跳躍技、庭

磐城高女が

櫻ヶ岡會組織

この方法はネルの布を用意
して西洋カラシを熱湯でよ
くときまして之をネルの布
の上に塗りその上に日本紙
を一枚だけ敷き、これを前
胸部に巻き付けるのです、
巻きつけましたら約十五分
間位我慢させておき、取り
除いたらその跡が赤くなり
ますから直に熱いタオルで

募集

文藝其他投稿
を募集します

ものごわかつたが百年後の
今日色も味も殆ど變りなく
地方においては珍重されて
ゐる

よごして間もない時は灰を
抹しかわくのを待つて拂ひ
ます。

一冊の代金で
御希望通りのな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎巡回文庫
電話六三〇番
(申込次第規則書進呈)

看護婦派出
の求めに應ず
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

養兔販賣價格

農會販賣幹旋

石城郡農會では各町村に飼
育中にある養兔を今回標準
多數優等八百丸、一等六百
丸、二等五百五十丸と定め
左記標準價格を以て販賣方
幹旋する事になつた

復舊工事

鮫川水利組合

鮫川水利組合議員改選後最
初の議員總會は來春一月下
旬に招集し本年度の事業を
の他を協議し次で問題とな
つて居る復舊工事につき各
關係町村長並に組合議員が
連署して縣に陳情書を提出
すると同時に水利權問題も
この際解決される様懇請す
ることになつた